

コンピュータ・リテラシ I	1 年・前期	1 単位	教授 豊田 修一
科目カテゴリー	人としての教養	科目ナンバリング	31220091

1. 授業のねらい・概要

パーソナルコンピュータを様々な知的活動の道具として活用できるように、文書作成ソフトウェアを中心に、メールの取り扱い、情報倫理について教授し、知的生産性の向上につなげる。

2. 学修の到達目標

1. 基本的なタイピング技術を習得する。
2. 文書作成ソフトウェア（Word）基本的操作を習得する。
3. 情報化社会におけるコミュニケーションや安全性確保のための情報倫理を理解できる。

3. 授業の進め方

P C 演習を中心に進めるが、学生の主体的な取り組みを期待する。

4. 授業計画 (演習)

1. ガイダンス	9. Word 入門
2. メールの取り扱い	10. 文章の入力
3. パソコン入門	11. 複写・削除・移動
4. Windows の基礎	12. 編集（文字サイズ，センタリング）
5. 情報倫理（コミュニケーション）	13. 編集（フォント関連）
6. 情報倫理（安全性，トラブル事例）	14. 表の作成と編集
7. 情報倫理（まとめ）	15. 画像の利用
8. TypeQuick の活用	

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）30%，TYPEQUICK 課題 30%，提出物 40%で、総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：1)「30 時間でマスター Windows10 対応 Word 2016」実教出版 978-4407340204
2) 2020 年度版情報倫理ハンドブック n o a 出版

教 材：「TYPEQUICK Professional USB 版」日本データパシフィック株式会社
参考文献：適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

1 時間程度必要とする課題がある。

8. 受講上の留意事項

なし

9. 課題に対するフィードバックの方法

課題等は原則として講義中に説明を行う。試験は終了後口頭にて解説を行う。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

「人としての教養」に区分される選択科目である。

なお、養護教諭 1 種の取得を希望する場合は、必修科目となる。